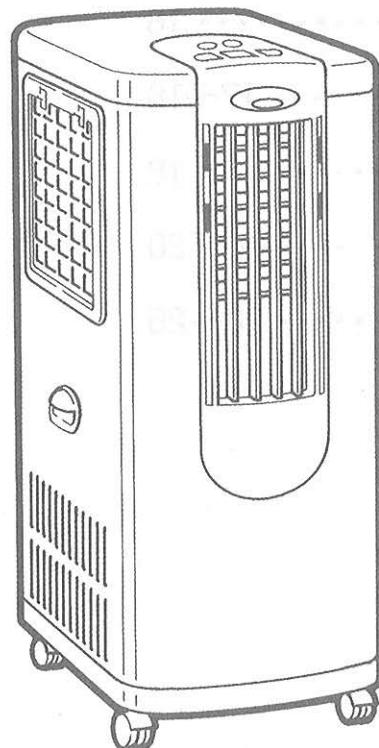
TOYOTOMI

上手に使って上手に節電

マイナスイオン発生
イオンクール ダクティー
型式 TDB-D12DE（除湿・冷風機）
ティ デー ビー デー デー イー

取扱説明書

このたびは本品をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を読んで、正しいご使用法でご愛用くださいますようお願い申しあげます。

■この取扱説明書は、保証書と共に大切に保管しておいてください。

■まちがった使用をされますと、機能を充分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故・危険を招くことがあります。

この製品は、一般家庭の人を対象とした除湿・冷風機です。それ以外の目的・用途には使用しないでください。

T02-1

株式会社トヨトミ

6952000710

目　次

イオンクール ダクティーの機能及び使用例

冷風除湿（イオン）運転

●コンプレッサー（圧縮機）により、湿気の少ない冷たい空気を、前面の吹出口より吹き出します。（排気口からは熱風を吹き出します。）マイナスイオン吹出口からはマイナスイオンを発生します。ただしダクトグリルを吹出口に取り付けた時は発生が少なくなります。

送風運転

●送風機のみの運転となり、前面の吹出口より送風して室内空気の循環をおこないます。

ドライ（イオン）運転

●微風運転をして冷風の吹出し量を抑え、周囲温度よりやや冷たい乾燥した空気を吹き出して除湿します。（排気口からは熱風を吹き出します。）マイナスイオン吹出口からはマイナスイオンを発生します。ただしダクトグリルを吹出口に取り付けた時は発生が少なくなります。

メモリー運転

●一度セットした運転条件は、停電や電源プラグを抜かない限りマイコンに記憶されます。次回からは運転ボタンを押すだけです。
（タイマー設定は解除されます）

切タイマー運転

●タイマー運転にしますと、0.5、1、2、4、6時間のうち、お好みの時間経過後に運転を停止させることができます。

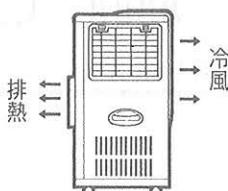
リズム運転 （送風運転時も使用可）

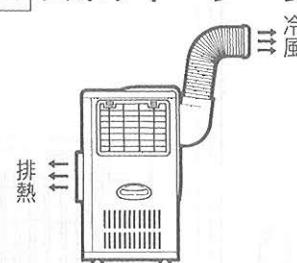
●冷風除湿運転時に、風量切替えを「リズム」にすると、送風機が自動的にON（約7秒間）、OFF（約2秒間）を繰り返すリズム運転になります。
●冷風を連続して体に当らないようにしたい場合にご使用ください。

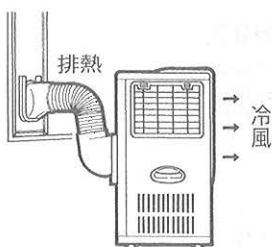
オートスイング

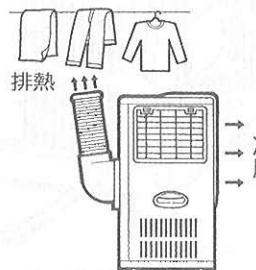
●縦ルーバーを左右にスイング（首振り）させることができます。
また、お好みの角度で止めることができます。

附属品の使用例

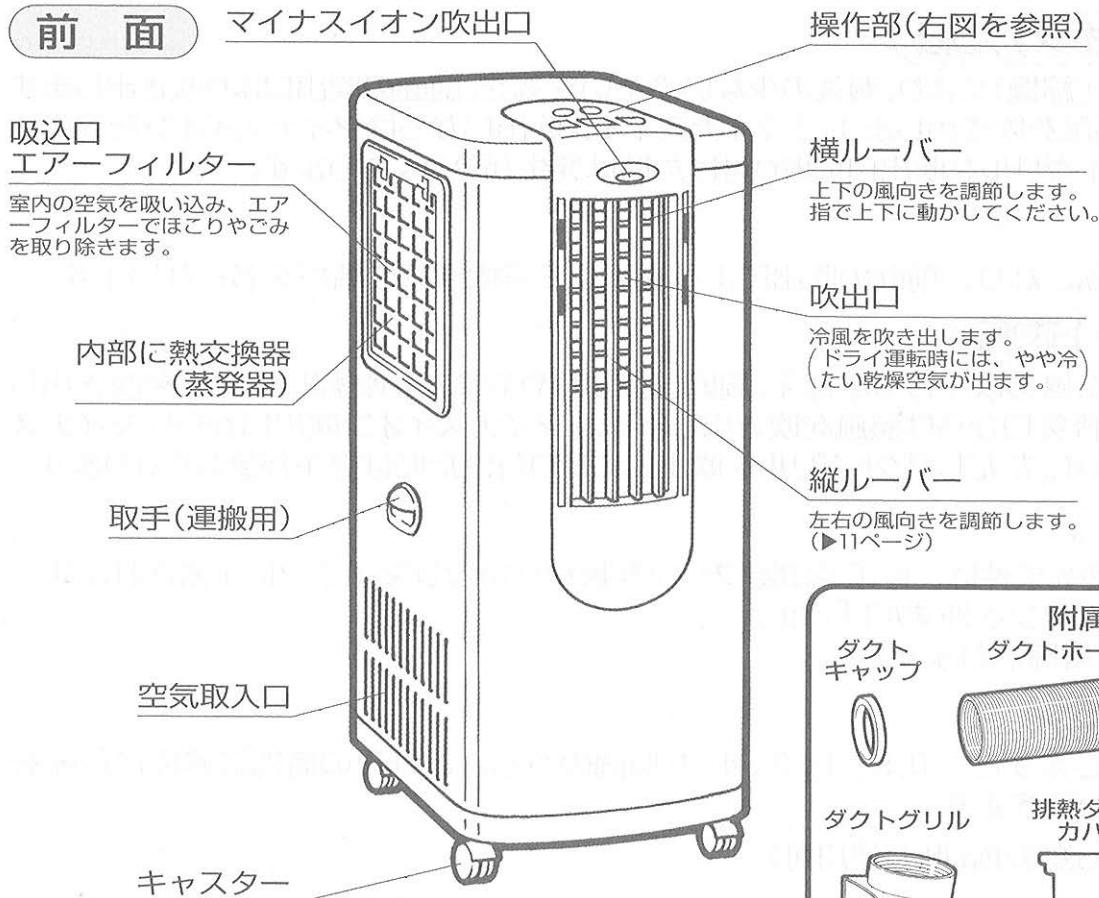
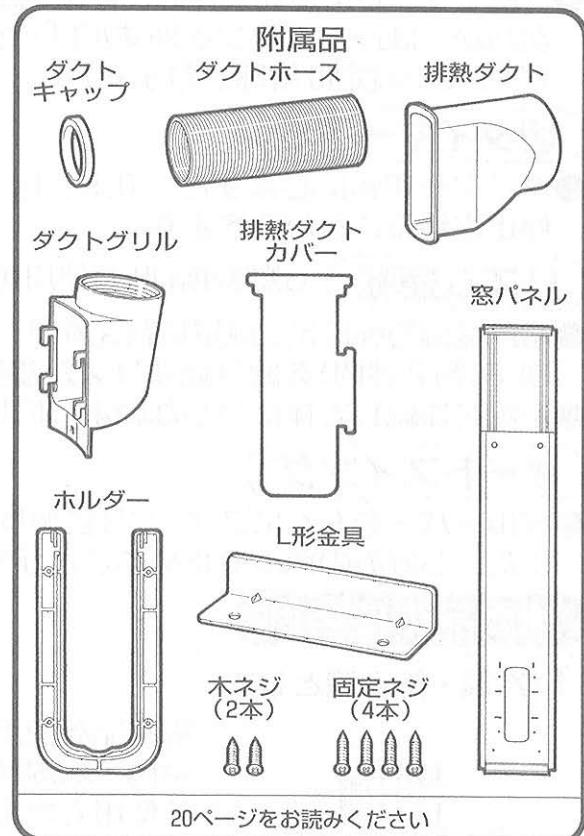
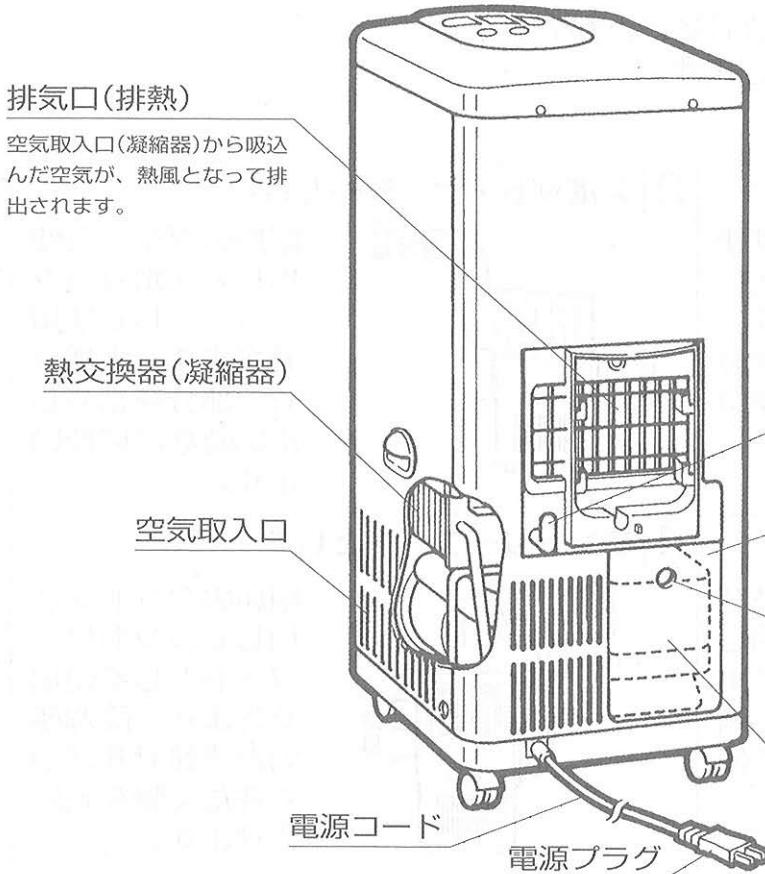
1 冷風・除湿機として

附属品を使用せず冷風・除湿機として使用できます。主に除湿能力を必要とする時に使います。

2 スポット・クーラーとして

附属のダクトを使用してスポットクーラーとして使用できます。大部屋で一部分を冷やしたい時などに使います。

3 簡易冷房機として

附属のダクト及び窓パネルを使用して排熱を室外に出すことにより、簡易冷房機として使います。

4 ランドリーフードとして

附属のダクトを使用してランドリーフードとして使用できます。除湿能力と排熱ですばやく洗たく物を乾燥させます。

各部のなまえとはたらき

前　面

背　面

操作部のなまえとはたらき

切タイマーランプ

切タイマー運転中の残り時間を表示して「**点灯**」します。

- **6** ・・・・・・ 4～6時間
- **4** ・・・・・・ 2～4時間
- **2** ・・・・・・ 1～2時間
- **1** ・・・・ 0.5～1時間
- **0.5** ・・ 0～0.5時間

運転状態ランプ

各運転に合わせて、各々の表示ランプが「**点灯**」します。

スイングランプ

縦ルーバーがスイングするとき「**点灯**」します

運転切替ボタン

押す毎に「**冷風除湿（イオン）**」→「**送風**」→「**ドライ（イオン）**」**運転**の順に運転が切り替わります。

スイングボタン

ボタンを押すと縦ルーバーが左右に連続して動きます。もう一度押すと止まります。

運転ランプ

運転中は「**点灯**」します。
ドレンタンクが満水になると「**点滅**」し、運転を停止します。

運転ボタン

ボタンを押すと運転を開始し、もう一度押すと停止します。

タイマーボタン

切タイマー運転の開始・時間設定・解除をし、無点灯→**0.5**→**1**→**2**→**4**→**6**の順に切り替わります。

風量ランプ

風量の状態を表して「**点灯**」します。
「**リズム**」運転のときは「**弱**」ランプが「**点滅**」します。

風量切替ボタン

押す毎に「**強**」→「**弱**」→「**リズム**」と風量を切り替えます。（ドライ運転時は切り替えできません）

安全上のご注意(よく読んで必ずお守りください。)

●ここに示した事項は、⚠警告、⚠注意に区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ず守ってください。

⚠警告(WARNING) 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠注意(CAUTION) 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

●説明文のお願い事項は、本機を誤りなく使用していただくための注意事項が記載されておりますので、必ずお守りください。

絵表示については次のような意味があります。

 一般的な禁止　 必ずおこなうこと　 電源プラグを抜く　 分解禁止　 アース

⚠警告(WARNING)

●長時間、冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにしてください。特に乳幼児やお年寄り、身体の不自由な方にはご注意ください。
体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

確認

●電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。
感電や発熱・火災の原因になります。

禁止

●電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、物を載せたり、加熱したり、加工したり、物と物との間にはさんだりしないでください。電源コードが破損する原因になります。傷んだまま使用すると感電や火災などの原因になります。

禁止

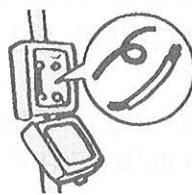
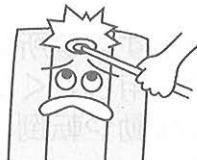
●空気の吹出口や排気口に指や棒等を入れないでください。内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。

禁止

●電源プラグの抜き差しにより本機の運転や停止をしないでください。
感電や火災の原因になります。

禁止

⚠警告（WARNING）

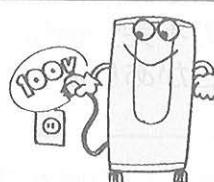
●安全器のヒューズの代わりに針金や銅線などを使わないでください。
故障や火災の原因になります。

●マイナスイオン吹出口に異物を差し込まないでください。
感電やけがをすることがあります。

●異常時（こげくさい等）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 にご相談ください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

●修理は、お買い上げの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 にご相談ください。
ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電・火災等の原因になります。

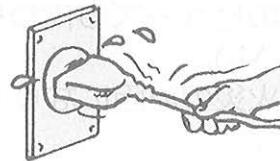
⚠注意（CAUTION）

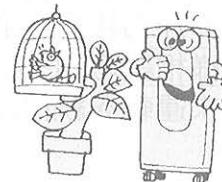
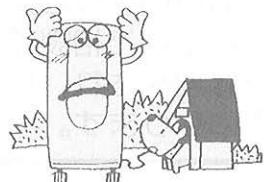
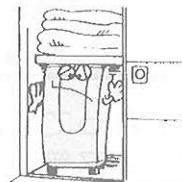
●アースをおこなってください。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

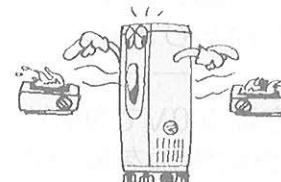
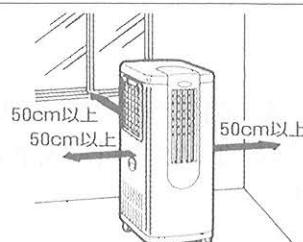
●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所では使用しないでください。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。

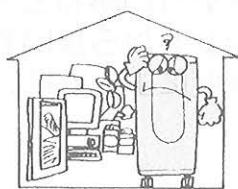
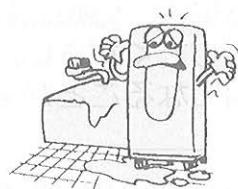
●電源は交流100Vで使用してください。
100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災・感電の原因になります。

●定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⚠注意（CAUTION）

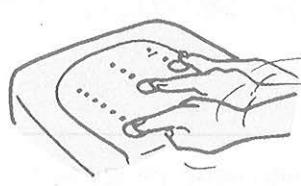
●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。

●本機を使用する場所は、振動のない、水平でしっかりした床面で使用してください。
予期せぬ移動や転倒、故障の原因や、水漏れの原因にもなります。

●動植物に直接風があたる場所には置かないでください。
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

●屋外で使用しないでください。
機器の劣化により、故障や火災の原因になります。

●押し入れなどせまい場所では、使用しないでください。
故障の原因になります。

●テレビやラジオなどAV機器から1.5ｍ以上離して使用してください。
映像の乱れや雑音が入ることがあります。

●この製品は運転時に前面と背面より風が出ます。
風が直接あたる所に燃焼器具を置かないでください。
燃焼器具の不完全燃焼による一酸化炭素中毒などの原因になることがあります。

●吹出口や排気口の風をさえぎったり、吸込口や空気取入口をふさいだりしないでください。製品に無理がかかって、故障の原因になります。

⚠注意(CAUTION)

●この製品は、一般家庭の人を対象とした除湿・冷風機ですので、食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など、特殊用途には使用しないでください。
製品自体並びにこれらの品質低下の原因になることがあります。

●この製品に水をかけたり、水のかかり易い場所(浴室など)に置いたりしないでください。また、上に花瓶など水の入った容器をのせないでください。
倒れて水がこぼれるなど、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、ショート・感電のおそれがあります。

●この製品の上に乗ったり、物をのせたりしないでください。
転倒などにより、けがの原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しないでください。
感電の原因になることがあります。

●むやみにボタンを押さないでください。
故障の原因になります。

●殺虫剤などを吹きつけないでください。
変色やひび割れの原因になります。

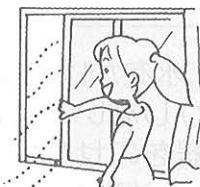
●湿度が非常に高いとき、「冷風除湿(イオン)」または「ドライ(イオン)」運転をすると、上面や背面に露が着き、床に落ちる場合があります。

●この製品を移動するときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、ドレンタンクの水を捨ててからおこなってください。
水がこぼれて床を汚すことがあります。

⚠注意(CAUTION)

●落雷のおそれのあるときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
落雷の程度によっては、故障の原因になります。

電源プラグを抜く

●部屋を閉め切ったり排熱ダクトや窓パネルを取り付けて使用する場合、燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。換気が不充分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

確認

●排熱ダクトや窓パネルを取り付けて使用する場合、雨や風が強いときは、雨水が侵入するおそれがありますので、運転を停止して窓を閉めてください。室内を雨水で汚すことがあります。

指示

●手入れ・掃除をするときは、必ず運転ボタンを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。

電源プラグを抜く

●この製品を水洗いしないでください。
ショート・感電のおそれがあります。

禁止

●本体内部の熱交換器(蒸発器・凝縮器)には手をふれないでください。手を切ることがあります。
掃除など、やむを得ず手をふれる場合は、必ず手袋をはめて、手を切らないように注意しておこなってください。

禁止

●長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
ほこりが溜まって発熱・発火の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

●熱交換器(蒸発器・凝縮器)の洗浄には専門技術が必要ですので、お買い求めの販売店にご相談ください。
市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

禁止

ご使用前に知っておいていただきたいこと

この製品は冷房機ではありません

- この製品は、**「冷風除湿(イオン)」**および**「ドライ(イオン)」運転**の場合は、背面の排気口より熱風を吹き出す構造ですので、**部屋全体を冷房することはできません。**
- **部屋を閉め切って運転しますと、室温が上昇することになります。**

マイナスイオンについて

森林・渓流・滝など自然のさわやかな空気には、マイナスイオンが豊富に存在しています。この製品はマイナスイオン発生器を搭載し、マイナスイオンを発生させ、お部屋にさわやかな空気をお届けします。

「冷風除湿(イオン)」「ドライ(イオン)」運転中守っていただきたいこと

室温が 5 ～ 35 ℃の範囲でご使用ください

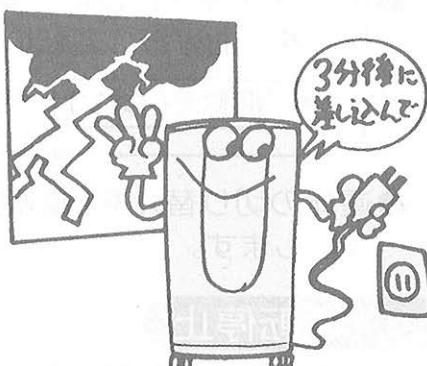
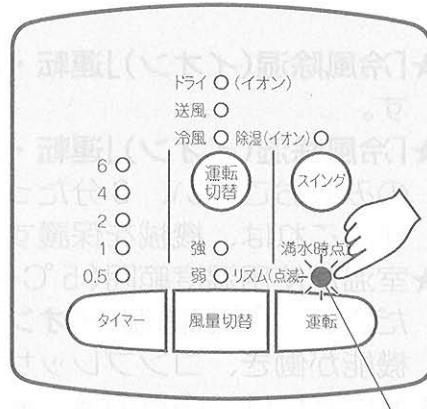
温度範囲(5 ℃～ 35 ℃)外でご使用になると、機械の保護機能が働き、運転できないことがあります。(10 ページ参照)

停電したり電源プラグを抜いたときは

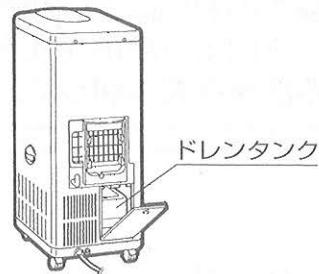
マイコンの記憶回路が消えるため、始めから運転操作をしなおしてください。

再運転は 3 分以上待ってください

カミナリなどにより運転動作に異常があった場合は、一旦運転を停止して電源プラグを抜き、3分以上過ぎてからコンセントに差し込み再運転してください。

★**「運転ボタン」**で運転を停止させたときや、**「運転ランプ」**が**「点滅」**して運転が停止したときなど、一旦運転を停止させたときは、またすぐ(3分間以内)に**「運転ボタン」**を押しても運転しません。
これは機械を保護するためで、**3分たてば運転を開始します。**

「冷風除湿(イオン)」または**「ドライ(イオン)」運転**しますとドレン水が出ます。
ドレンタンクにドレン水が70～80％溜まると、満水スイッチが働いて**「運転ランプ」**が**「点滅」**し、運転が停止します。
ドレンタンクを取り出して水を捨て、ドレンタンクを元どおりに取り付けてから再度運転してください。
「運転ランプ」が**「点滅」**後、**3 分以上待ってから「運転ボタン」**を押し、一旦**「運転ランプ」**を**「消灯」**させてから、もう一度**「運転ボタン」**を押して、運転を再開してください。

運転前の確認事項

1 ドレンタンクが入っていることを確認してください。
（輸送のため、ドレンタンクの上部をテープで止めてあります。必ずテープを取りはずしてください。）

2 電源プラグを、専用のコンセントに確実に差し込んでください。

電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

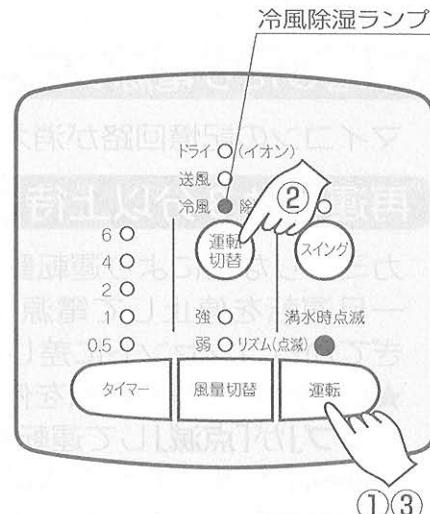
運　転　方　法

① 運転ボタンを押します

●運転を開始します。（**「運転ランプ」**が**「点灯」**します）
●もう一度押すと運転が停止します。

② 運転切替ボタンを押します

●ボタンを押すたびに、運転が次のように切り替わります。お好みの運転に合わせてください。

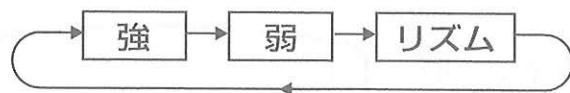
●運転の切り替えを**「運転状態ランプ」**が**「点灯」**して表示します。

③ 運転停止

●**「運転ボタン」**を押します。（全てのランプが**「消灯」**します）

★**「冷風除湿（イオン）」運転**・**「ドライ（イオン）」運転**時に、マイナスイオンを発生します。
★**「冷風除湿（イオン）」運転**・**「ドライ（イオン）」運転**は、運転を開始して３分間は送風のみをおこない、３分たってからコンプレッサーが起動して冷風運転をし除湿します。これは、機械を保護する３分間保護機能によるものです。
★室温が使用温度範囲（５℃～35℃）外のときは、**「送風」運転**以外の運転はしないでください。**「冷風除湿（イオン）」**または**「ドライ（イオン）」運転**をしますと、機械の保護機能が働き、コンプレッサーON・OFF（間欠運転）をすることがあります。
★低温時には、内部の熱交換器の霜取り運転（間欠運転）をおこなうことがあります。このとき、**「冷風除湿ランプ」**が**「点滅」**します。（12ページを参照ください）

風量調節のしかた

風量切替ボタンを押します

●**「冷風除湿(イオン)」**あるいは**「送風」運転**中にボタンを押すと、押すたびに風量が次のように替わります。お好みの風量に合わせてください。

●風量の切り替えを**「風量ランプ」**が**「点灯」**して表示します。

強……強風量で運転します。

弱……風量をおさえ静かな運転をします。

リズム‥弱風のON(7秒)・OFF(2秒)の間隔で自動的に繰り返し、自然な感じの風が得られます。

★**「ドライ(イオン)」運転**のときには風量切り替えはできません。

⚠警告　**長時間、冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにしてください。特に乳幼児やお年寄り、身体の不自由な方にはご注意ください。体調悪化・健康障害の原因になります。**

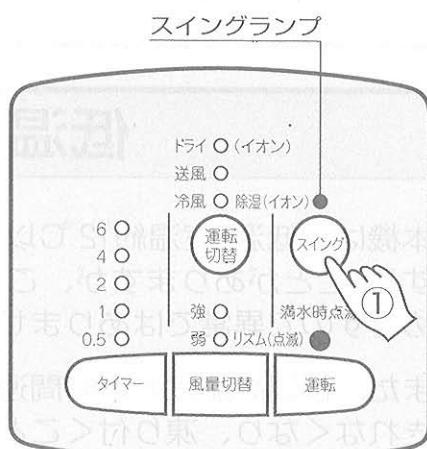
風向調節のしかた

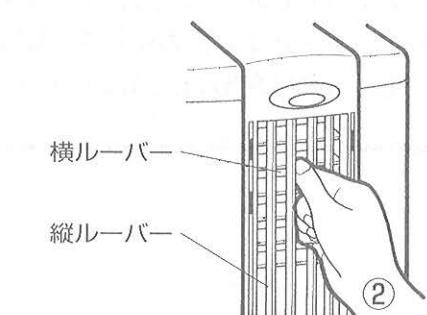
① スイングボタンを押します

●縦ルーバーが、左右に連続して動きます。(**「スイングランプ」**が**「点灯」**します)

●もう一度押すとスイングが停止します。

お願い

縦ルーバーは絶対に指で動かさないでください。破損する場合があります。

② 横ルーバーを指で動かします

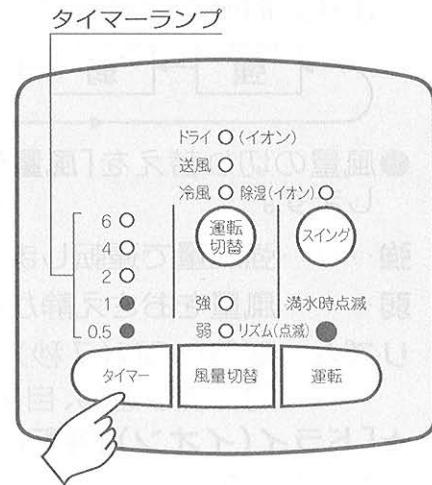
●縦ルーバーをほぼ正面の位置で止めてから、横ルーバーを上下にお好みの方向に動かし。上下方向の風向きを変えます。

空気の吹出口や排気口に指や棒等を入れないでください。内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。

タイマー運転

※本機のタイマー運転は、現在の運転状態を、ある時間後に停止させる(切タイマー)運転です。

切タイマー運転のしかた

タイマーボタンを押します

- 運転中に**「タイマーボタン」**を押して、タイマー時間を設定します。**「タイマーボタン」**を押すたびに
  無点灯→ **0.5 → 1 → 2 → 4 → 6**
  と各時間に順次切り替わり、**「タイマーランプ」**が**「点灯」**します。
- セットした時間が経過すると運転が停止します。
- タイマーセットを解除する場合は、**「タイマーボタン」**を押して、**「タイマーランプ」**を**「消灯」**にします。連続運転に切り替わります。

タイマーランプ	0.5	1	2	4	6
残り運転時間	0~0.5時間	0.5~1時間	1~2時間	2~4時間	4~6時間

このタイマーは、例えばタイマーセットをして**「タイマーランプ」**の **6** を**「点灯」**させると、残り運転時間は 6 時間にセットされますが、残り運転時間が 4 時間から 6 時間の間は**「タイマーランプ」**は **6** を**「点灯」**し続けます。

低温時の使用上のご注意

本機は、低温(室温約12 ℃以下)において、コンプレッサーがON･OFFする(間欠運転する)ことがありますが、これは、内部の熱交換器の霜取り運転をおこなっているためですので異常ではありません。

また、低温高湿度で長時間連続使用されますと、内部の熱交換器(蒸発器)の霜が取りきれなくなり、凍り付くことがあります。

ときどきエアーフィルターをはずして､熱交換器が凍ってないことを確認してください。
(うっすら白く霜が付いている程度は問題ありません。)
もし、凍り付いていましたら、運転を停止させてください。

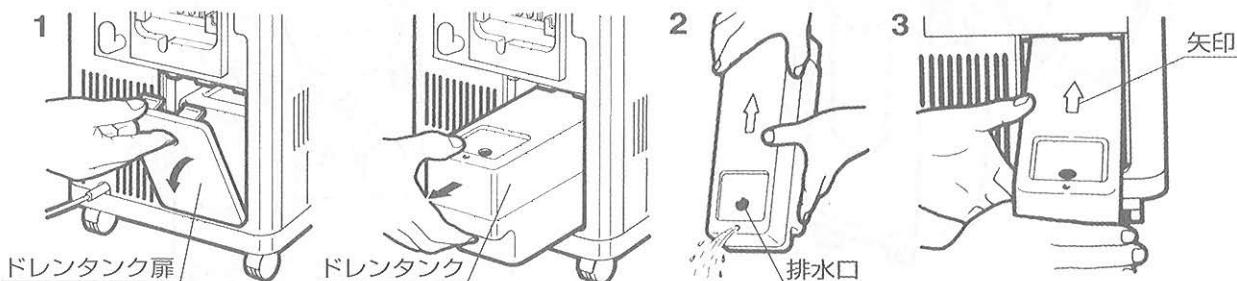
ドレン水の処理のしかた

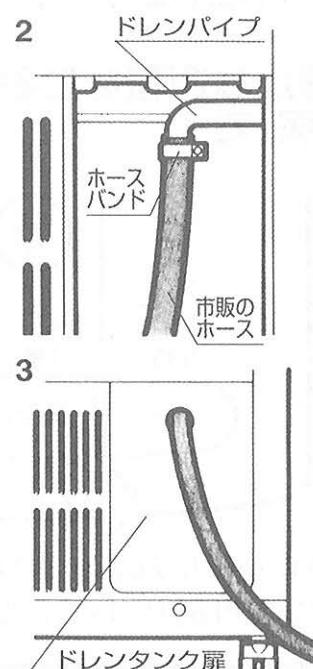
ドレンタンク（標準装備）を使用する場合

お願い

ドレンタンクの入れ方が悪いと、ドレンタンク扉が閉まらなかったり、ドレン水が漏れることがあります。ドレンタンクは本体に正しく入れてください。

●**「冷風除湿（イオン）」**または**「ドライ（イオン）」運転**をしますと、ドレン水が、機内のドレンタンクに溜まります。
●ドレンタンクに除湿された水が70～80％溜まりますと、運転が停止し、**「運転ランプ」**が**「点滅」**します。
「運転ランプ」が**「点滅」**した場合は、次の要領で背面からドレンタンクを取り出し、溜まった水を捨ててください。

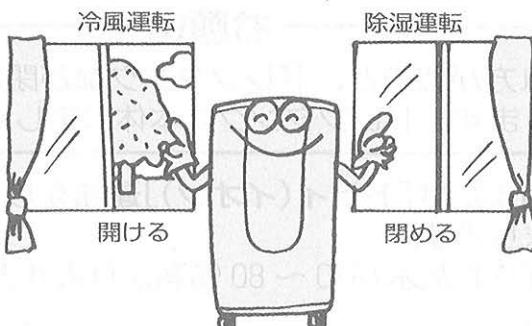
1 本体背面のドレンタンク扉を開け、ドレンタンクを静かに引き出します。
2 排水口からドレン水を捨てます。
3 排水後、ドレンタンクの前後を間違えないように、矢印に従って、止まるまで確実に入れます。
4 ドレンタンク扉を、元どおりに閉めます。
5 **「運転ランプ」**が**「点滅」**してから3分間待った後で、**「運転ボタン」**を押し、ランプの**「消灯」**を確認してから、再度**「運転ボタン」**を押してください。

連続排水する場合（ドレンタンクを使用しない）

1 ドレンタンク扉を開け、ドレンタンクを取り出します。
2 本体内部のドレンパイプの先端に、市販のビニールホース（内径10mm）を接続し、市販のホースバンドで固定します。
3 ビニールホースをドレンタンク扉の穴に通し、扉を閉め、ビニールホースの先端を、庭やベランダ等の排水溝のある所に設置してください。
●ドレンタンク扉の穴にホースを通しづらい場合は、ドレンタンク扉をはずして排水してください。

お願い

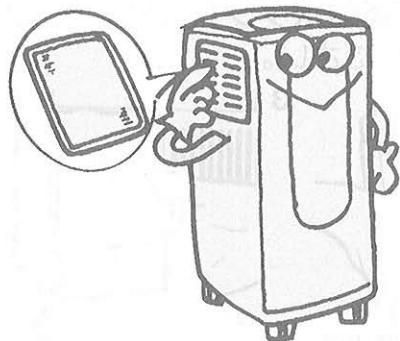
●必ず手袋をはめておこなってください。
●市販ホースとの接続部は、ホースバンドやテープ等を巻き、水漏れしないようにしてください。
●ホースを延長する場合は、途中で折れ曲がらないよう、また、ホース取り出し口（ドレンタンク扉の穴）の高さより高くならないようにしてください。

上手な使いかた

経済的で快適にお使いいただくために

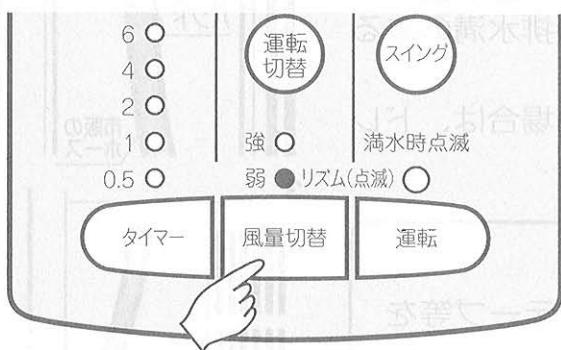
排気の処理を適正に

■冷風運転時
排熱が逃げるように、窓を開けて使用してください。（または排熱ダクトを使用してください。）

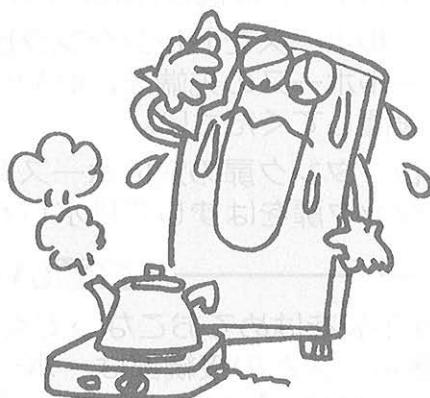
■除湿運転時（「冷風除湿（イオン）」運転または「ドライ（イオン）」運転で除湿するとき）
窓パネルを使用しない時は窓や出入口を閉めて、湿気が侵入しないようにしてください。（室温は少し上昇します。）

フィルターの掃除はこまめに

フィルターの目づまりは、風量が減り、冷風効果を弱めます。2週間に1回は掃除をしましょう。（15ページ参照）

直射日光を入れない

直射日光をカーテンやブラインドでさえぎりましょう。

静かな運転をご希望のときは「弱」で

おやすみになるときなどは**「風量切替ボタン」**を**「弱」**にしてご使用ください。

熱の発生は少なく

室内には、できるだけ熱源になるものを置かないでください。

お手入れの前に

●手入れ・掃除をするときは、必ず運転ボタンを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。
●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

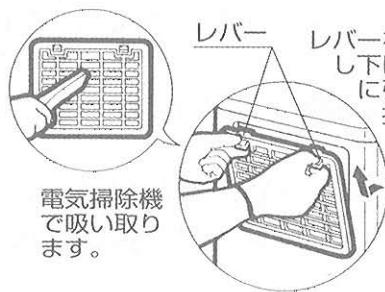
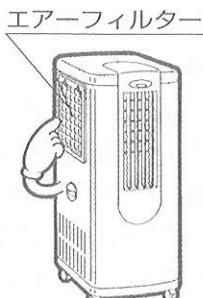
エアーフィルター・凝縮器の掃除

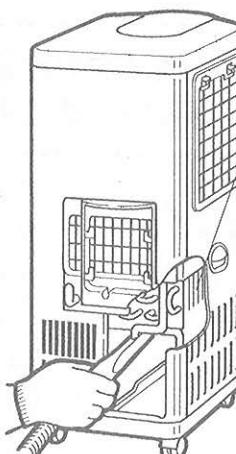
シーズン中は2週間に1回程度エアーフィルターを掃除してください。また凝縮器の汚れが目立ったら掃除してください。

お願い

蒸発器・凝縮器のフィンで手を切らないように、必ず手袋をはめておこなってください。

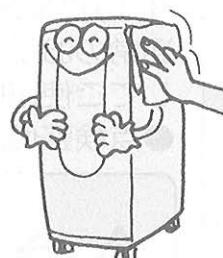
エアーフィルター

フィルターにほこりが溜まりますと、空気の通りが悪くなり、冷風効果が低下します。次の要領で掃除してください。

★強く引っ張らないでください。
★**40℃以上のお湯で洗わないでください。**
フィルターが縮むことがあります。

凝縮器

ドレンタンクを取り出して（13ページ「**ドレン水の処理**」をご覧ください）から、下図の要領で、掃除機やブラシを使用して凝縮器表面の汚れを取り除いてください。

（凝縮器に素手で触れると、指を切るおそれがあるので、**必ず手袋をはめ、掃除機やブラシを使用して掃除してください**）

★**フィルターをはずしたままで運転しないでください。機械部にほこりが入り、故障の原因になります。**

ユニット各部のお手入れ

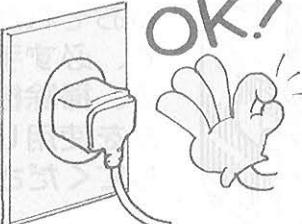
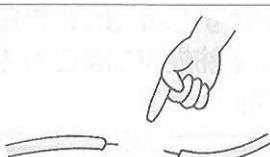
水洗いしないでください。ショート・感電のおそれがあります。

●やわらかい布で、からぶきしてください。
●特に汚れがひどい場合は、ぬるま湯でふきとってください。
■**40℃以上のお湯は使わないでください。**
プラスチックが変形することがあります。
■**次のようなものは使わないでください。塗装面やプラスチックをいためます。**
ベンジン・シンナー・みがき粉など。
■化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

長期間使用しない場合の手入れ

●長期間使用しない場合は、ドレンタンク内の水は必ず抜いておいてください。

シーズン後には	シーズン前には
●ドレンタンクを掃除して、取り付けておいてください。 ●晴れた日に半日ほど**「送風」運転**をして、機器の内部を乾燥させてください。 ●電源プラグを、コンセントから抜いておいてください。 ●掃除をして汚れを落としてください。 ●エアーフィルターを掃除して、取り付けておいてください。	●ドレンタンクが入っていること(連続排水の場合は排水ホースが接続されていること)を確認してください。 ●エアーフィルターが汚れていないか確認してください。

定期点検

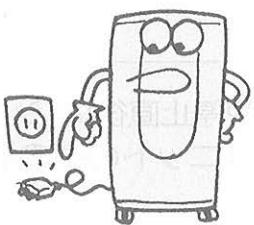
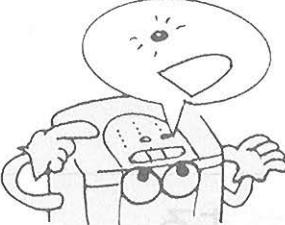
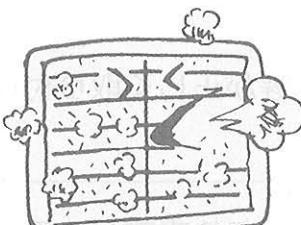
半年～1年に一度、定期点検に次の点検をおこなってください。
もしご不振な点がありましたら、すぐお買い上げの販売店にご連絡ください。

コンセント		電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 (電源プラグとコンセントの間に"ゆるみ"がないことを確認してください。) 電源プラグ、コンセントにほこりや汚れが付着していませんか。汚れていれば、電源プラグを抜いて掃除してください。
アース線		アース線がはずれていたり、途中で切れていたりしませんか。アースを正しくおこなってください。

点検整備

ご使用状態や周囲の環境によっても変わりますが、この製品を数シーズン(2～3年)ご使用になりますと、内部が汚れて能力が低下することがありますので、通常のお手入れとは別に、点検整備をお勧めします。(製品を長持ちさせ、安心してご使用いただけます)
●点検整備には専門技術を必要とします。

⚠注意	市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

点検整備は、お買い上げの販売店にご相談ください。

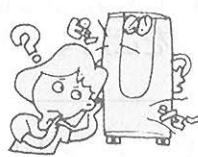
故障かな？と思ったら 次のことをお調べください。

まったく運転しない	停電ではありませんか。ヒューズは切れていませんか。 	電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 運転スイッチはON(入)になっていますか。 	運転ランプが点滅していませんか。 水を捨ててください。 (13ページをご覧ください)
冷えが悪い	エアーフィルターや、熱交換機(凝縮器)が汚れていませんか。 (15ページをご覧ください)	お部屋の中に思わぬ熱源がありませんか 	吸込口や空気取入口・吹出口や排気口がふさがっていませんか。

■以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや下表のような現象が出たときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、すぐお買い上げの販売店にご連絡ください。アフターサービスについては19ページをご覧ください。

こんなときは、すぐ販売店へ

- ●ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- ●スイッチの動作が不確実。
- ●誤って製品内部に異物や水を入れてしまった。
- ●コードの過熱や、コードの被覆に破れがある。

これは故障ではありません

停止直後に再運転できない。	運転を停止後3分間は、再運転をストップして機械を守り、ヒューズ、ブレーカー切れを防ぎます。（マイコンに組込んである3分間保護回路が自動的に働きます）
音がする。	運転中や停止直後に"シュー"という音がすることがあります。これはユニットの中の液が流れる音です。
	運転の開始または停止時に"ピシピシ"と音がする場合がありますが、プラスチックの熱膨張、熱収縮による音です。
運転音が大きい。	製品を置く設置面が弱かったり、傾斜したりしていませんか。
	ドレンタンク、エアーフィルター等が正しく取り付けてありますか。
においがする。	運転中に吹き出す風がにおうことがありますが、これは、ユニットに付いたタバコや化粧品などのにおいです。

3分間待ってね

お願い

それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご連絡のうえ修理をお申しつけください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

●お申し出により 出張修理 いたします。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●保証期間はお買い上げの日から１年間です。
（ただし、冷凍サイクル部分は３年間です。）

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について

除湿・冷風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後９年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

⚠警告

修理は、お買い上げの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 にご相談ください。ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電・火災等の原因になります。

使用中に異常が生じたときは、直ちに運転を停止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。

型　　式…TDB-D12DE
故障状態…できるだけ詳しく
ご氏名・ご住所・電話番号

アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合、お買い上げの販売店か別紙の お客様相談窓口一覧 にお問い合わせください。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での当社製品取扱店を紹介させていただきます。

仕 様

項目	型式	TDB-D12DE
マイナスイオン発生方法		電子放射式
電源		単相100V 50／60Hz
冷風能力	KW	0.98／1.16
消費電力	W	冷風 370／430
風量	m³/min	3.4／4
除湿量		11／14(L/day)
ドレンタンク容量	L	2.4
コード長さ	m	1.8
外形寸法 高さ	mm	660
外形寸法 幅	mm	266
外形寸法 奥行	mm	354
質量	kg	19

ご注意 （1）／で示されている値は左側が50Hz、右側が60Hzの値です。
（2）冷風特性は、室内空気条件30℃DB、相対湿度70%強運転の時の値です。
（3）除湿特性は、室内空気条件27℃DB、相対湿度60%の時の値です。

附属品の取付け方法

●取付けの前に、必ずこの取付け方法をお読みいただき、正しい取付けかたでご使用ください。

⚠注 意（CAUTION）

●取り付け部品は、必ず附属部品を使用してください。当社指定部品を使用しないと、事故や故障の原因になります。	●排熱ダクトの窓側吹出口は、吹き下しなどにより窓から風雨が浸入しない場所に取り付けてください。室内を汚すことがあります。
●排熱ダクトの窓側吹出口からの温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。	●排熱ダクトの窓側吹出口の近くに物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
●雨や風が強いときは、風雨が浸入するおそれがありますので、運転を停止して窓を閉めてください。室内を汚すことがあります。	●ダクトホースは、附属品以外のものを使用しないでください。排熱ダクトを改造しないでください。冷風が出なくなることがあります。

同梱附属品

ダクトキャップ

排熱ダクト

ダクトグリル

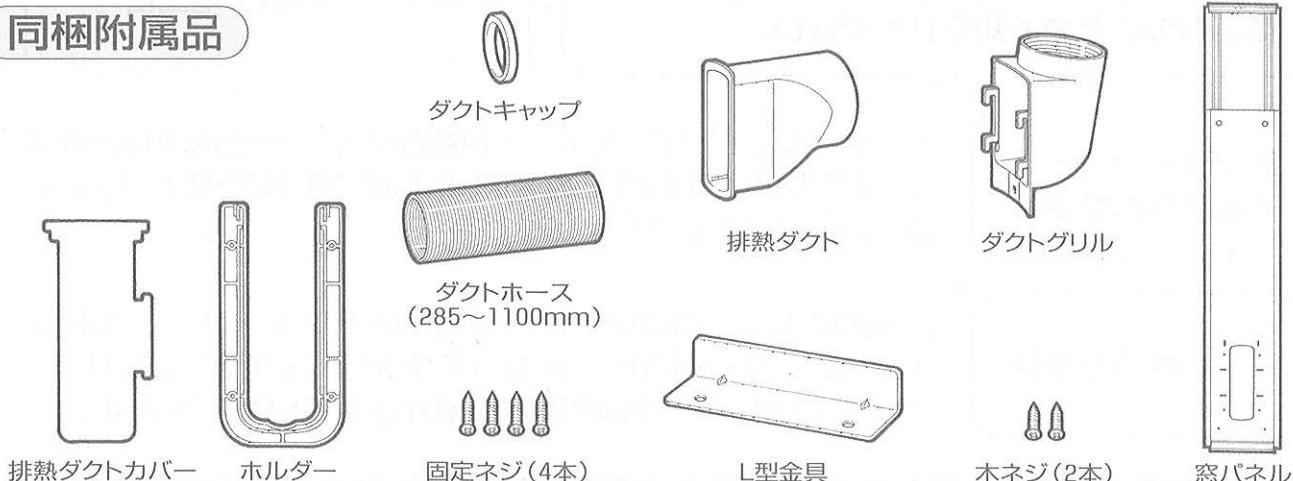
ダクトホース
（285～1100mm）

排熱ダクトカバー　ホルダー

固定ネジ（4本）

L型金具

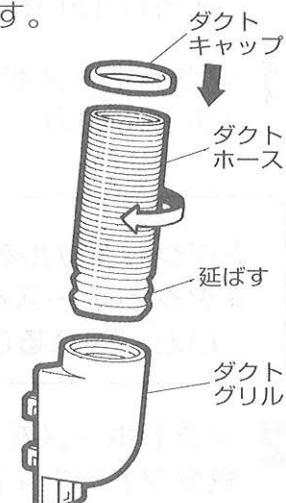
木ネジ（2本）

窓パネル

スポットクーラーとして使用する場合（マイナスイオンの発生は少なくなります）

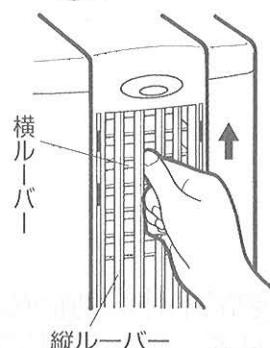
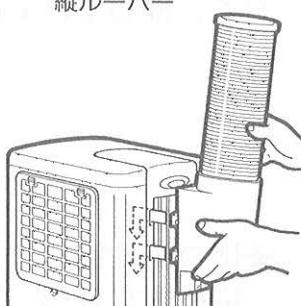
※ダクトを使用して「スポットクーラー」として使用する時は、冷風は「強」でご使用ください。「弱」で使用した場合は水滴が付くことがあります。

1 ダクトホースをダクトグリルのねじ込み部だけ延ばして、右に回しながら、ダクトホースが止まるまでねじ込みます。そしてダクトキャップをはめます。

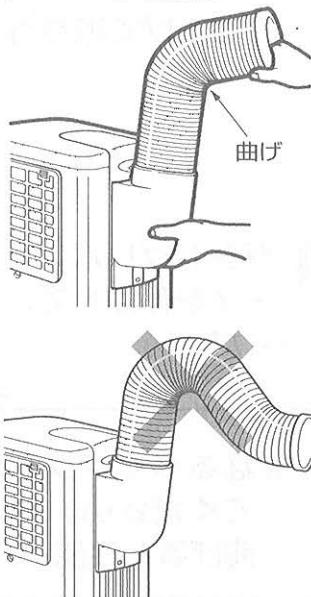
お願い

★ダクトグリルを落下させると破損することがあります。
★ダクトホースを取付けるとき、ねじ込み部を延ばさないと、破れることがあります。

2 製品本体の横ルーバーを約30˚上向きにし、縦ルーバーを垂直にしてください。

お願い

★ルーバー位置を変更しないと、冷気がスムーズにダクトホースの口から出ません。

3 ダクトグリルのツメを吹出口のダクトの角穴に挿入し、下げて固定します。

4 ダクトグリル本体に手を添えながらダクトホースを曲げ、冷風を送りたい場所に向けて運転してください。

お願い

★ルーバーのスイングは使用しないでください。
★ダクトホースは立てた状態で、１回で曲げられる長さ以上に伸ばさないでください。又、曲げすぎると自重で先端が自然に下降することがあります。
★ダクトホースを延ばしすぎたり、湿度が高い状態(約70%)では、ダクトホースなどに水滴が付くおそれがあります。水滴が付いた場合は、必ず布等でふき取ってください。(ダクトが冷却されて空気中の水分が表面に凝縮するためです。)

ダクトを使って室外に排熱して使用する場合

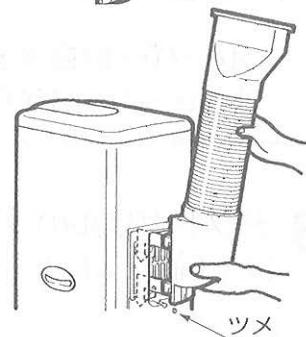
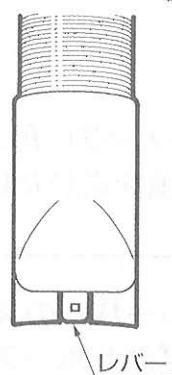
※ダクトを使用して、排熱する時は、冷風は「強」でご使用ください。
「弱」で使用した場合は効率が悪くなります。

1 ダクトホースをダクトグリルのねじ込み部だけ延ばして、右に回しながらダクトホースが止まるまでねじ込みます。

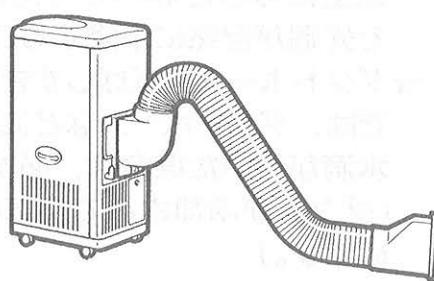
お願い

★ダクトグリルを落下させると破損することがあります。
★ダクトホースを取付けるとき、ねじ込み部を延ばさないと、破れることがあります。

2 ダクトホースを排熱ダクトのねじ込み部だけ延ばして、排熱ダクトを右に回しながらねじ込みます。

3 製品本体の背面の排気口にダクトグリル組立をみぞに合わせて、押し下げて固定します。

★取り外す時は、ダクトグリル下部の中心のレバーを手前に引きながら、ツメから外して、ダクトグリル組立を持ち上げて取り外します。

4 ダクトグリル本体に手を添えながら、ダクトホースを伸ばして、排熱させたい場所に動かしてください。

お願い

★なるべくダクトホースは短かくして使用してください。伸ばして使用したり、何度も曲げると性能が充分に発揮できません。

窓パネルの取り付け方法

※この窓パネルは、排熱ダクトと組み合わせて使用するものです。

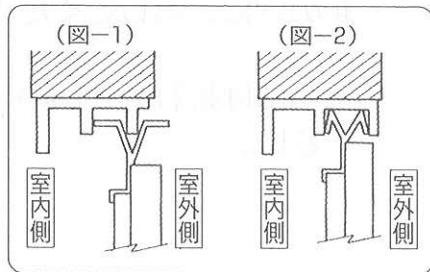
お願い

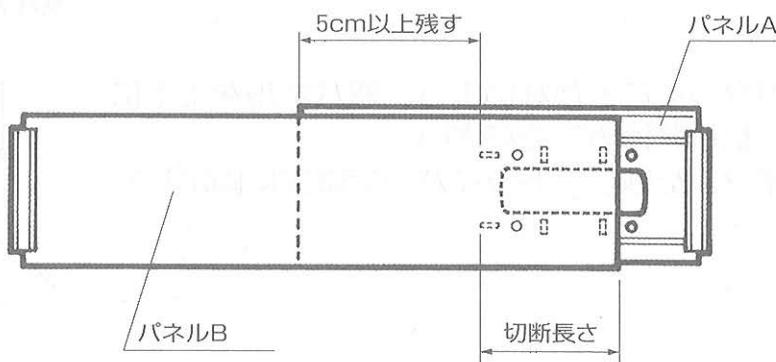
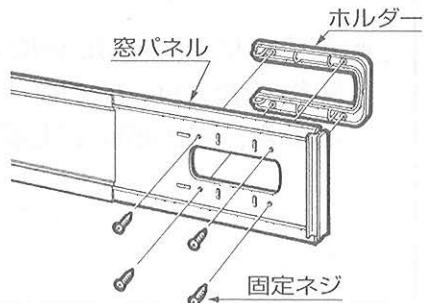
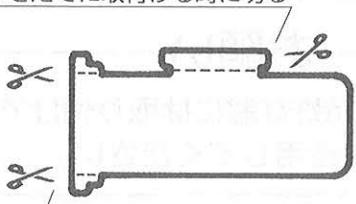
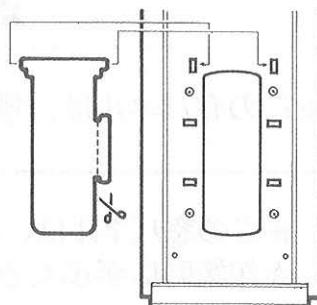
★この窓パネルは、鉄製の窓や、特殊な窓には取り付けできないことがあります。
★作業時は手ぶくろ等の保護具を着用してください。

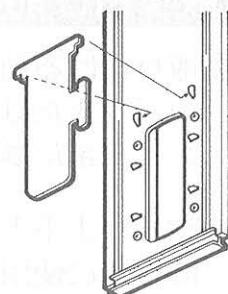
1 取り付け前の注意

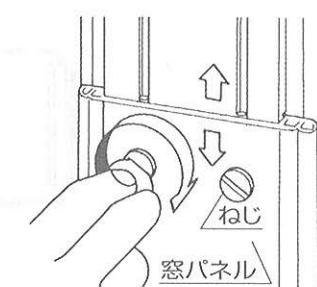
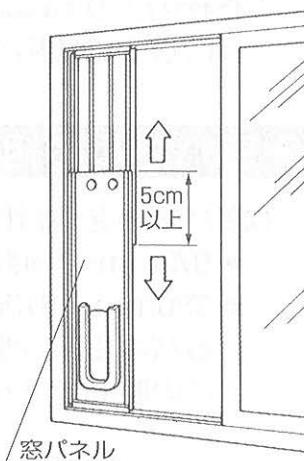
①取り付ける前に、次の工具を用意してください。
コインまたは(−)ドライバー、(+)ドライバー、ナイフまたはハサミ。

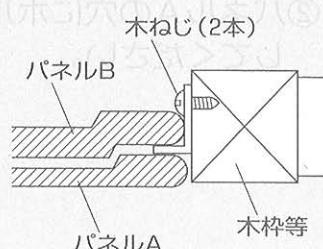
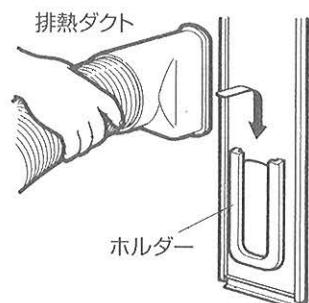
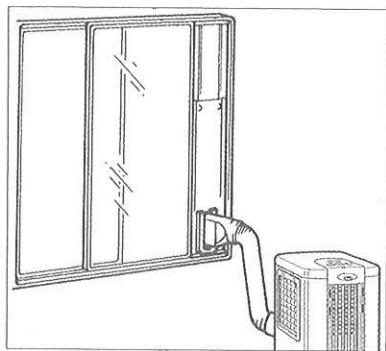
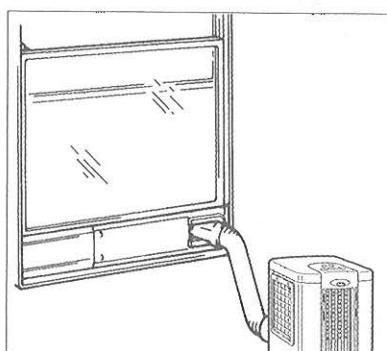
②窓枠が上下ともレール式の場合は、(図―1)のようにしてご使用ください。

③窓枠の上が溝式および木窓の場合は(図―2)のようにしてご使用ください。

2 窓パネルの組み立てと取り付け

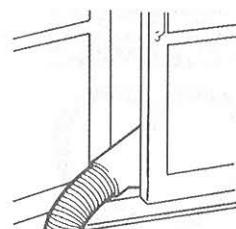
①窓パネルを取付ける前に窓の高さを測定してください。
- 972mm〜1400mmまでは窓パネルをそのまま使用できます。
- 780mm〜972mmまでは窓パネルを取付長さに合わせパネルAの穴がかくれるパネルBの部分をノコギリ等で切断して調節します。
この時必ず2枚の窓パネルが5cm以上重なるようにしてください。

②パネルAの穴にホルダーを固定ねじ(4本)で固定してください。

●排熱ダクトカバーのツメを図のようにはさみで切ってください。（25ページ設置例参照）

③排熱ダクトカバーの保護紙をはがした後、窓パネルの凸起の穴に、通してください。

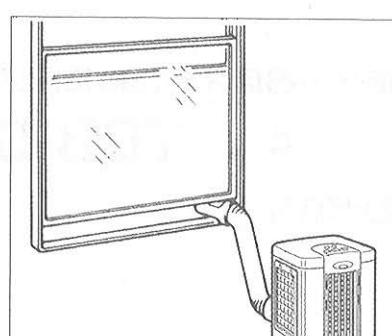
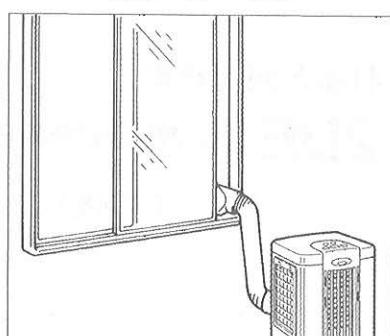
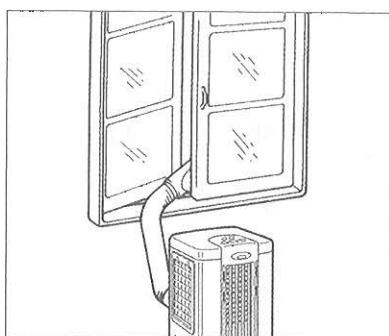
※凸部は折れやすいので取り扱いには充分注意してください。

④窓パネルを引き伸ばし、上下のレールまたは溝に取り付けてください。必ず窓の戸と同じレールまたは溝に取り付けてください。

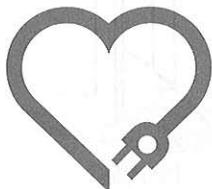
●はずれ防止のため、必ず2枚の窓パネルが、5 cm以上重なるようにしてください。

⑤窓パネルがガタつくことがないよう、窓パネルを上下に広げながら、ねじを締めてください。
ねじは、コインまたは(ー)ドライバーで確実に固定してください。

●木枠等に窓パネルを取り付けたとき、窓パネルが前後にたわむ場合は、図示のようにL型金具をパネルA，Bの間にさし込んで、固定してください。

⑥排熱ダクトを、窓パネルのホルダーに差し込んでください。
- 取り付けが完了しましたら、各部のゆるみやはずれがないか確認してください。

［スライド窓設置例］

［上げ下げ窓設置例］

※施錠できない取り付けの場合、外出する時やご使用にならない時は、防犯の為、窓パネルを取りはずしてください。
※運転時は窓があいていることをご確認ください。

その他の排熱の方法

1 ダクトホースを延ばし、本体をできるだけ窓や扉に近づけて、排熱ダクトを扉や窓にはさんでください。
※ダクトホースの最大長さは１mです。

［室内側］

［設　置　例］

TDB-D12DE　取扱説明書

長年ご使用の除湿・冷風機の点検をぜひ！

このようなことはありませんか

- ●コゲくさいにおいがする。電源コード、プラグが異常に熱い。
- ●運転音が異常に高くなる。
- ●水漏れがする。
- ●漏電ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- ●その他の異常や故障がある。

▶ 運転スイッチを停止にし、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

お客様へ…おぼえのために記入されると便利です。

型　式	TDB-D12DE	お買上げ年月日	年　月　日
お買上げ店名		（電話番号）	（　）　―